

# 事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	シート区分	ページ
32131	スポーツイングシティまつやま推進事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツイングシティ推進課	シートB	2
42211	市民スポーツ活動活性化事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツイングシティ推進課	シートB	4
42211	社会体育振興事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツイングシティ推進課	シートB	6
42212	松山市スポーツ協会運営補助金交付事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツイングシティ推進課	シートB	8
42213	総合コミュニティセンター管理運営事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツイングシティ推進課	シートB	10
42213	野外活動センター管理運営事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツイングシティ推進課	シートB	12
42213	スポーツセンター管理事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツイングシティ推進課	シートB	14
42213	中島B&G海洋センター事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツイングシティ振興課	シートA	16
42213	体育施設管理運営事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツイングシティ推進課	シートB	17
42213	中央公園管理運営事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツイングシティ推進課	シートB	19
42213	野球歴史資料館維持管理事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツイングシティ推進課	シートA	21
42213	中央公園改修整備事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツイングシティ推進課	シートB	22
42213	野外活動センター施設災害復旧事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツイングシティ推進課	シートA	24
42221	スポーツ推進委員協議会運営事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツイングシティ推進課	シートB	25

令和2年度 松山市 事務事業シート <シートB>

評価実施年度	令和2年度	評価対象年度	令和元年度
--------	-------	--------	-------

令和2年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツシティ推進課	担当グループ名	プロ・コンベンション担当	連絡先	948-6226	
	部等長名	吉田 健二	課等長名	白石 信二	リーダー名	副主幹	大野 精毅	担当者名	主任 関谷 暁人 主事 西岡 直哉
令和元年度	部局等名	総合政策部	課等名	スポーツシティ推進課	担当グループ名	スポーツ振興担当	連絡先	948-6226	
	部等長名	河合 洋二	課等長名	矢野 秋文	リーダー名	主幹	野口 信隆	担当者名	副主幹 大野 精毅 主任 関谷 暁人

1. 事業概要【Plan】 ※令和元年度の内容

事務事業名(施策コード)	32131	スポーツシティまつやま推進事業			事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営		
基本目標	地域の魅力・活力がふれるまち【産業・交流】				笑顔プログラム	個別プログラム	笑顔が集まるプログラム			
政策	都市全体の価値や魅力を向上する					113	重点プロジェクト	松山への新しい人の流れをつくる「心ひかれるまちづくり」プロジェクト		
施策	選ばれる都市づくり						主な取り組み	スポーツシティまつやまの推進		
主な取り組み	スポーツによる地域活性化の推進				市長公約	231	誰もが自分らしく、いきいきと暮らせる松山をつくります			
取り組みの柱	スポーツ支援の促進						スポーツコンベンションの誘致や地域でのスポーツ活動の活性化、佛都松山ならではの文化プログラムの実施など、市民の誰もが気軽にスポーツや文化芸術に親しめる機会を充実します。			
総合戦略	4232	基本目標	①魅力ある仕事と職場をつくる(地域経済活性化)		取組み	② 東京オリンピックやパラリンピックなどの世界大会における、海外チームの合宿誘致等の促進のほか、地元プロスポーツへの支援を行います。	(総合戦略)	未来プロジェクト、該当有無	2:無し	
		政策	②産業の競争力強化(業種別取組)							
		施策	③文化・芸術・スポーツ等の地域資源を活用したビジネス創出							
総合計画の実施計画掲載有無(R元)	1:有り		重点的取組事業該当有無(R元)		1:有り					
根拠法令,条例,個別計画等										
事業の目的(どのような状態にするか)	プロスポーツの支援をはじめ、スポーツを「する」、「見る」、「支える」ひとを応援し、競技人口の拡大や観光施策とも連携させ交流人口の拡大、更には地域経済の活性化など「まち」、「ひと」の元気・活力の創出を図る。									
背景(どのような経緯で開始したか)	本事業は、地域再生の一環として、『坂の上の雲』のまち再生計画の目標に掲げる観光交流人口500万人から600万人への拡大に向け、スポーツを通じた交流人口の拡大や地域経済の活性化など、「スポーツで「ひと」、「まち」を元気にする」という目的を掲げ、平成17年度から(財)地域総合整備財団の「地域再生マネージャー事業」を活用しスタートした。平成19年度から重点事業に認定され平成20年度から「スポーツシティまつやま推進事業」として実施し、現在に至っている。									
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	東京ヤクルトスワローズの公式戦及び秋季キャンプの継続誘致を行う。 地域に密着したプロスポーツ(愛媛FC、愛媛マダリンバイレーツ、愛媛オレンジバイキングス)に関する情報発信及び集客支援を行う。 スポーツ大会・合宿等開催助成金制度を活用したスポーツコンベンション誘致活動を行う。 大会や合宿誘致に向けたスポーツ情報サイトの運営管理を行う。 台北市との友好交流協定を基にしたスポーツ交流を推進する。 東京オリンピックを契機とした諸外国のスポーツ合宿誘致を行う。 スポーツマスターズ開催時の参加者等へのおもてなしを行う。 オリンピック聖火リレーの実施に向けた調整等を行う。 全国規模のスポーツ大会や合宿の運営協力及び誘致を行う。									
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合、基準や金額等「無し」の場合、その理由		東京ヤクルトスワローズ松山協会の(松山観光コンベンション協会)、愛媛FC、愛媛マダリンバイレーツ、愛媛オレンジバイキングス					
始期・終期(年度)	平成	19	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費	項	保健体育費	目	社会体育総務費	R元 予算措置時期	当初
				H30年度			R元年度		R2年度	
現予算額(A) (単位:千円)				74,074			104,532		127,282	
決算額(B) (単位:千円)				73,775			82,686			
内訳 (単位:千円) ※H30→R元 決算内訳、 R2→予算内訳	国支出金			4,437			10,796		12,400	
	県支出金			0			0		0	
	市債			0			0		0	
	その他			186			242		3,174	
	一般財源			69,152			71,648		111,708	
主な経費(単位:千円) ※R元→決算,R2→予算				負担金 73,084千円 補助金 9,000千円 普通旅費 5,679千円			負担金 78,761千円 補助金 9,000千円 普通旅費 6,396千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等				負担金 3,733千円(6月補正) 負担金 3,360千円(9月補正) 負担金 7,859千円(12月補正)						
予算執行残額(単位:千円)	(A)-(B)			299			21,846			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R元年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取組内容	プロ野球公式戦「東京ヤクルトスワローズ対阪神タイガース」の開催 東京ヤクルトスワローズ秋季キャンプの受入 えひめ愛・野球博の実施(日米大学野球開催等) イベント・合宿誘致パンフレットの作成 アジアチャレンジマッチの開催 松山国際スポーツ交流事業(台北市:野球、マラソン、ドラゴンボートレース、サッカー) 東京オリンピック事前合宿誘致(台湾:マラソン、女子サッカー、パラ柔道 マレーシア:バドミントン モザンビーク:陸上、空手等) 地域に密着したプロスポーツ(愛媛FC、愛媛マダリンバイレーツ、愛媛オレンジバイキングス)に関する情報発信及び集客支援									
主な取組内容の達成度	↑	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など		東京オリンピックを契機とした諸外国の事前合宿に関する協定締結や事前合宿を行った。台湾のマラソンや女子サッカーの合宿を成功させるとともに、台北市とのマラソン等を通じたスポーツ相互交流も継続して実施できたことで、信頼・友好関係を一層構築することができた。また、東京ヤクルトスワローズをはじめ愛媛FCや愛媛MPの集客等の支援事業は、地元種目団体等も積極的に協力してくれていることから評価できる。					
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由		台湾交流事業についても、国内だけでなく観光施策と連携したコンベンション効果が見込める。また国内で開催される国際大会の事前合宿を誘致することにより、オリンピック事前合宿誘致を優位に進めている。また、ヤクルト秋季キャンプについて3年間(平成30年度から令和2年度)の継続協定書を締結しており、今後の公式戦も含め交流人口の拡大が見込める。						
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない		公益性	1		1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R元年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルスの影響から、本市で開催予定であった各種スポーツ大会や合宿等が中止や延期となった。また、東京オリンピック・パラリンピックも1年程度延期となり、ホストタウン事業での事前合宿については、相手国・地域との交流機会が増加したと前向きに捉え、今後も積極的に取り組んでいきたい。聖火リレーについても延期が決まり、走行ルート上の安全性や効果的な広報活動など、再度見直しを行うとともに関係団体等と連携を図りながら万全の体制で取り組んでいきたい。									
R2年度の目標	地元プロスポーツの集客数:118,000人 スポーツ交流件数及び合宿受入件数:10件 スポーツ大会・合宿等開催助成金制度を活用した大会等誘致件数:36件 東京ヤクルトスワローズ公式戦1試合当たりの集客数:19,000人			R2年度の主な取組内容(予定含む)		プロ野球公式戦及び東京ヤクルトスワローズ秋季キャンプの誘致 愛媛FCや愛媛MP、愛媛OVに関する情報発信と集客支援 大会・合宿などスポーツコンベンションの誘致 愛媛県と連携した愛・野球博の実施 スポーツマスターズ開催に伴う参加者等へのおもてなし 坊っちゃんスタジアム20周年記念に伴う広報 聖火リレー実施に伴う各調整		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R2年度で取組む改善策		オリンピックが延期となり、ホストタウンとしての事前合宿や聖火リレーなど、実施に向けて改めて調整が必要になるため、関係団体等と連携し、取り組む必要がある。愛媛FC・愛媛MPへの支援としては、報道関係者や行政が積極的に市民へのPRを行っていく。東京ヤクルトスワローズの秋季キャンプが3年目を迎えるため、今後3年間(令和3年から5年)のキャンプ継続協定書締結を行う。

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	ホストタウンに関連したスポーツ交流件数及び合宿受入件数	件	目標値	6	8	10	10	10	目標値	10	
			実績値	9	9	18			達成年度	R4年度	
		%	達成度	150	113	180					
	指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標						最終目標値の設定の考え方			
	本指標の設定理由	本事業の効果を計る適切な指標であるため						オリンピック開催前年(令和元年度)を最高値として最終年度まで継続させる。			
	スポーツ大会・合宿等開催助成金制度を活用した大会等誘致件数	件	目標値	30	32	34	36	38	目標値	40	
			実績値	30	42	21			達成年度	R4年度	
		%	達成度	100	131	62					
	指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標						最終目標値の設定の考え方			
	本指標の設定理由	本事業の効果を計る適切な指標であるため						現在の実績値から可能な最高値を設定			
		目標値							目標値		
		実績値							達成年度		
		%	達成度								
	指標の種類							最終目標値の設定の考え方			
	本指標の設定理由										
成果指標 (3つまで設定可)	地元プロスポーツの集客数	人	目標値	115,000	116,000	117,000	118,000	119,000	目標値	120,000	
			実績値	114,745	107,176	112,856			達成年度	R4年度	
		%	達成度	100	92	96					
	指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標						最終目標値の設定の考え方			
	本指標の設定理由	本事業の効果を計る適切な指標であるため						現在の実績値から可能な最高値を設定			
	東京ヤクルトスワローズ公式戦1試合当たりの集客数	人	目標値	17,500	18,000	18,500	19,000	19,500	目標値	20,000	
			実績値	14,863	18,901	19,424			達成年度	R4年度	
		%	達成度	85	105	105					
	指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標						最終目標値の設定の考え方			
	本指標の設定理由	本事業の効果を計る適切な指標であるため						現在の実績値から可能な最高値を設定			
		目標値							目標値		
		実績値							達成年度		
		%	達成度								
	指標の種類							最終目標値の設定の考え方			
	本指標の設定理由										
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	ホストタウンに関連した合宿等受入件数については、愛媛県と連携し、誘致活動を強化することで、目標を上回る実績を上げることができた。大会等誘致件数については、コロナウイルスの影響により、中止・延期となった大会があったため、未達となった。									
	成果指標	地元プロスポーツ集客数については、コロナウイルスの影響により、中止となった試合があったため、未達となった。東京ヤクルトスワローズ公式戦1試合当たりの集客数については、関係機関と連携し、情報発信・誘客支援を実施することで達成できた。									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容	事業実施による交流人口と地域経済効果										

令和2年度 松山市 事務事業シート <シートB>

評価実施年度	令和2年度	評価対象年度	令和元年度
--------	-------	--------	-------

令和2年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツインテグリティ推進課	担当グループ名	スポーツ振興担当	連絡先	948-6889				
	部等長名	吉田 健二	課等長名	白石 信二	リーダー名	主幹	中矢 章一	担当者名	主事	武氣 浩介	主事	吉川 英里
令和元年度	部局等名	総合政策部	課等名	スポーツインテグリティ推進課	担当グループ名	スポーツ振興担当	連絡先	948-6226				
	部等長名	河合 洋二	課等長名	矢野 秋文	リーダー名	主幹	野口 信隆	担当者名	主査	影山 知佳	主事	吉川 英里

1. 事業概要【Plan】 ※令和元年度の内容

事務事業名(施策コード)	42211	市民スポーツ活動活性化事業					事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金	
基本目標	健全で豊かな心を育む【教育・文化】					笑顔プログラム	個別プログラム				
政策	多様な人材を育む						重点プロジェクト				
施策	地域スポーツの活性化						主な取り組み				
主な取り組み	地域スポーツ活動の推進					市長公約					
取り組みの柱	市民スポーツ活動の活性化										
総合戦略	5231	基本目標	①暮らしと経済を守る(暮らしと経済まちづくり)			取組み	①生涯を通じた生活習慣病予防に重点を置き、乳幼児期から高齢期までライフステージに合わせた健康づくりに取り組むとともに、各地域で自主的に行われている健康づくり活動を支援します。また、年齢や体力に応じて、健康維持・増進につながる運動やスポーツをする機会を提供します。	(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無	2:無し		
	政策	②安心して健康な暮らしの確保									
	施策	③健康寿命の延伸									
総合計画の実施計画掲載有無(R元)	1:有り		重点的取組事業該当有無(R元)		2:無し						

根拠法令,条例,個別計画等										
事業の目的(どのような状態にするか)	スポーツを通じ、市民の健康保持、健康増進及び公民館相互の親睦・交流を図ること、また、本市スポーツの推進と発展に寄与し、市民生活を明るく豊かにすることを目的とする。									
背景(どのような経緯で開始したか)	スポーツを通じ、市民の健康保持、健康増進及び公民館相互の親睦・交流を図ることを目的として、「松山市民体育祭実行委員会」を発足させ、昭和55年から市民体育祭を運営している。また、広く市民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚させることによって、市民の健康増進と体力の向上を図り、市民生活を明るく豊かにするために「松山市長旗杯大会開催支援実行委員会」を発足し、平成25年度から市民のスポーツ振興を積極的に支援している。									
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	対象:全市民 負担金交付先:松山市民体育祭実行委員会、松山市長旗杯大会開催支援実行委員会 事業内容:「松山市民体育祭実行委員会」に負担金を支出し、市民体育祭を開催している。 松山市長旗杯大会を開催している各種団体に対して、「松山市長旗杯大会開催支援実行委員会」が継続して大会が開催できるよう支援している。									
受益者負担の状況	負担の有無	2:無し	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由			スポーツを通じ、市民の健康保持、健康増進を図るもので、運営が困難な大会等を支援することから、負担はない。				
始期・終期(年度)	昭和	55	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費	項	保健体育費	目	社会体育総務費	R元	予算措置時期	当初
				H30年度			R元年度		R2年度		
現計予算額(A)(単位:千円)				5,081			5,073		5,108		
決算額(B)(単位:千円)				4,398			3,484				
内訳(単位:千円) ※H30→R元 決算内訳, R2→予算内訳	国支出金			0			0		0		
	県支出金			0			0		0		
	市債			0			0		0		
	その他			0			0		0		
一般財源				4,398			3,484		5,108		
主な経費(単位:千円) ※R元→決算,R2→予算							市民体育祭実行委員会:2,656千円		市民体育祭実行委員会:3,064千円 市長旗杯大会開催負担金:1,000千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)	(A)-(B)			683			1,589				

\*決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R元年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・松山市民体育祭の開催・運営 ・松山市長旗杯大会の開催支援										
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 ↓:年度当初目標未満		左記の理由として良かった点,悪かった点など			地区体育祭の開催により、市民の体力増進と地域コミュニティの促進に努めることができた。より多くの松山市長旗杯大会などの開催支援を行うことで、市民スポーツ機運の醸成に努めることができた。				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由			市民体育祭を開催するとともに、松山市長旗杯大会を開催することで、スポーツを通じた交流機運が高まっているため。					
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R元年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルス感染症の影響で、市内で開催予定であったスポーツ大会の中止や延期、スポーツ施設の利用制限が行われている。										
R2年度の目標	公民館対抗スポーツ大会の参加者数2600人を目指す。			R2年度の主な取り組み内容(予定含む)			・市民体育祭の開催 ・松山市長旗杯大会の開催支援		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R2年度で取り組む改善策		新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視し、関係機関と連携して、大会開催可否について適正に判断する必要がある。

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	市長旗杯スポーツ大会の開催数	大会	目標値	40	40	40	40	40	目標値	40	
			実績値	24	23	17			達成年度	令和4年度	
			% 達成度	60	58	43					
	指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標							最終目標値の設定の考え方		
	本指標の設定理由	市民がスポーツ大会に参加できる機会を把握できる指標であるため。							第6次松山市総合計画の指標で、同様の目標設定を行っている。		
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類								最終目標値の設定の考え方		
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
% 達成度											
指標の種類								最終目標値の設定の考え方			
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	公民館対抗スポーツ大会の参加者数	人	目標値	2,600	2,600	2,600	2,600	2,600	目標値	2,600	
			実績値	1,615	2,496	2,368			達成年度	令和3年度	
			% 達成度	62	96	92					
	指標の種類	5:現状維持を目指す指標(増を良しとする)							最終目標値の設定の考え方		
	本指標の設定理由	市民がスポーツ大会に参加できる機会を把握できる指標であるため。							公民館対抗のスポーツ大会のうち、バレーボールとソフトボールは50回以上開催してきた歴史があるものの、大会の競技レベルが高く、未経験者が参加しにくい状況があり、参加チームが減少傾向にあるため、現状維持を目標とした。		
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類								最終目標値の設定の考え方		
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
% 達成度											
指標の種類								最終目標値の設定の考え方			
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	各種大会の支援を行ってきたが、えひめ国体・えひめ大会を目標にしてきた大会が多く、現在は減少傾向にある。今後は、支援方法等を再検討し、新規の大会支援を行う。									
	成果指標	公民館対抗スポーツ大会は、市民体育祭を含め年5回実施しており、これ以上の大会の増加は公民館活動との調整もあることから困難であるため、現在の大会の開催機会を維持し、大会の質を高めることで、多くの市民参加を促進している。									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和2年度 松山市 事務事業シート <シートB>

評価実施年度	令和2年度	評価対象年度	令和元年度
--------	-------	--------	-------

令和2年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツインテグリティ推進課	担当グループ名	スポーツ振興担当	連絡先	948-6226				
	部等長名	吉田 健二	課等長名	白石 信二	リーダー名	主幹	中矢 章一	担当者名	主事	武氣 浩介	主事	吉川 英里
令和元年度	部局等名	総合政策部	課等名	スポーツインテグリティ推進課	担当グループ名	スポーツ振興担当	連絡先	948-6226				
	部等長名	河合 洋二	課等長名	矢野 秋文	リーダー名	主幹	野口 信隆	担当者名	主査	影山 知佳	主事	西岡 直哉

1. 事業概要【Plan】 ※令和元年度の内容

事務事業名(施策コード)	42211	社会体育振興事業					事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金	
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】					笑顔プログラム	個別プログラム	-			
政策	多彩な人材を育む						重点プロジェクト	-			
施策	地域スポーツの活性化						主な取り組み	-			
主な取り組み	地域スポーツ活動の推進					市長公約	231	誰もが自分らしく、いきいきと暮らせる松山をつくります			
取り組みの柱	市民スポーツ活動の活性化							スポーツコンベンションの誘致や地域でのスポーツ活動の活性化、伊都松山ならではの文化プログラムの実施など、市民の誰もが気軽にスポーツや文化芸術に親しめる機会を充実します。			
総合戦略	5231	基本目標	①暮らしと経済を守る(暮らしと経済まちづくり)			取組み	①生涯を通じた生活習慣病予防に重点を置き、乳幼児期から高齢期までライフステージに合わせた健康づくりに取り組むとともに、各地域で自主的に行われている健康づくり活動を支援します。また、年齢や体力に応じて、健康維持・増進につながる運動やスポーツをする機会を提供します。			(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無	2:無し
		政策	②安心して健康な暮らしの確保								
		施策	③健康寿命の延伸								
総合計画の実施計画掲載有無(R元)	1:有り		重点的取組事業該当有無(R元)			2:無し					
根拠法令,条例,個別計画等	スポーツの振興・普及を図るために各種大会に対し、様々な支援を行いスポーツでより多くの市民が笑顔になることを目的とする。										
事業の目的(どのような状態にするか)	スポーツの振興・普及を図るために各種大会に対し、様々な支援を行いスポーツでより多くの市民が笑顔になることを目的とする。										
背景(どのような経緯で開始したか)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より多くの笑顔が増えるよう、平成24年度より、スポーツで優秀な成績を取った選手や指導者を対象に「まつやまスポーツ笑顔大賞」を創設した。</li> <li>・平成17年に旧中島町との合併に伴い、旧中島町が開催していた「トライアスロン中島大会」の開催・運営を引き継いだことにより、大会運営に参画している。</li> <li>・既存の大会としてあった「愛媛マラソン」を、平成22年の第48回大会より、アスリートマラソンの大会から、市民マラソンの大会として開催するにあたり、主催者として大会運営に参画している。</li> </ul>										
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	<b>【対象】</b> 広告料:野球クラブチーム(松山フェニックス・マドンナ松山) 負担金交付先:愛媛マラソン実行委員会、トライアスロン中島大会実行委員会 補助金交付先:全国大会に出場する小中学生 <b>【事業内容】</b> ・市民が取り組む各種大会の後援を行う。 ・スポーツ功労者に対して表彰を行う。 ・大規模なスポーツ大会開催の際に経費補助等を行う。										
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り		「有り」の場合、基準や金額等「無し」の場合、その理由		愛媛マラソンやトライアスロン中島大会への参加費					
始期・終期(年度)	平成	17	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期				

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費	項	保健体育費	目	社会体育総務費	R元 予算措置時期	
									R元	R2年度
				H30年度			R元年度		R2年度	
現計予算額(A)(単位:千円)				27,003			28,960		26,806	
決算額(B)(単位:千円)				29,793			25,478			
内訳(単位:千円) ※H30→R元 決算内訳, R2→予算内訳	国支出金			0			0		0	
	県支出金			0			0		0	
	市債			0			0		0	
	その他			0			0		0	
	一般財源			29,793			25,478		26,806	
主な経費(単位:千円) ※R元→決算,R2→予算							全国大会参加激励金:4,185千円 トライアスロン中島大会開催負担金:4,500千円		全国大会参加激励金:7,000千円 トライアスロン中島大会開催負担金:4,500千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等							流用による増あり			
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)			-2,790		3,482	

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R元年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民が取り組む各種大会の後援を行う。</li> <li>・スポーツ功労者に対して表彰を行う。</li> <li>・大規模なスポーツ大会開催の際に経費補助等を行う。</li> </ul>											
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など		大会での事故やケガもなく、予定通り大会運営を実施したため。						
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		各種の取り組みにより市民のスポーツへの振興・普及が図れているため。							
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない				
R元年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルス感染症の影響で本市が後援しているスポーツ大会が中止や延期となっている。											
R2年度の目標	トライアスロン中島大会申込者数625人を目指す。			R2年度の主な取り組み内容(予定含む)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民が取り組む各種大会の後援を行う。</li> <li>・スポーツ功労者に対して表彰を行う。</li> <li>・大規模なスポーツ大会開催の際に経費補助等を行う。</li> </ul>			特に環境変化,障害,課題等解決のため,R2年度で取り組む改善策		各大会については、新型コロナウイルス感染症状況を注視し開催可否について関係機関と連携し適正に判断する必要がある。	



【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
			% 達成度								
	指標の種類									最終目標値の設定の考え方	
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類									最終目標値の設定の考え方	
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
% 達成度											
指標の種類									最終目標値の設定の考え方		
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	愛媛マラソン 抽選エントリー申込者数	人	目標値	22,500	22,500	22,500	22,500	22,500	目標値	-	
			実績値	23,875	23,650	24,396			達成年度	-	
			% 達成度	106	105	108					
	指標の種類	5:現状維持を目指す指標(増を良しとする)								最終目標値及び達成年度は、実行委員会決定されるものであり、設定は困難である。	
	本指標の設定理由	愛媛マラソンの人気を把握できる数値のため								最終目標値の設定の考え方	
	愛媛マラソンの経済効果	千円	目標値	493,155	493,100	493,100	493,100	493,100	目標値	493,100	
			実績値	514,830	592,000	566,000			達成年度	R3年度	
			% 達成度	104	120	114					
	指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標								最終目標値の設定の考え方	
	本指標の設定理由	愛媛マラソンが地域経済の活性化にどのくらい寄与しているのかの指標になるため。								現状では、定員1万人が拡大する想定はしていないため、現状維持とした。	
	トライアスロン中島大会申込者数	人	目標値	625	625	625	625	625	目標値	625	
			実績値	456	434	438			達成年度	R3年度	
% 達成度			73	69	70						
指標の種類	5:現状維持を目指す指標(増を良しとする)								最終目標値の設定の考え方		
本指標の設定理由	トライアスロン中島大会の人気を把握出来る数値であるため。								本大会は30回を超える歴史ある大会であり、愛媛県唯一のトライアスロンの大会であった。しかし、平成24年度以降は愛南町、伊予市、今治市で、日本トライアスロン連合公認の大会が開催されるようになり、選手にとっての選択肢が大幅に広がった。そのため、H25年度の実績値を現状維持とする目標設定にしている。		
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標										
	成果指標	愛媛マラソン申込者数は年々増加傾向であり、本大会の人気の高さを示している。また、経済効果も年々増加傾向であり、大会を開催することで経済に一定の影響を与えていると考えることが出来る。トライアスロン中島大会は、県内他市でトライアスロンの大会が開催され始めたことや、宿泊先の確保が困難であることから、エントリー数が減少傾向にあるが、大会の質の向上などを行い、リピーターを増やすよう取り組んでいく。									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和2年度 松山市 事務事業シート <シートB>

評価実施年度	令和2年度	評価対象年度	令和元年度
--------	-------	--------	-------

令和2年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツインテグリティ推進課	担当グループ名	スポーツ振興担当	連絡先	948-6226				
	部長名	吉田 健二	課等長名	白石 信二	リーダー名	主幹	中矢 章一	担当者名	主事	古茂田 修一	主事	吉川 英里
令和元年度	部局等名	総合政策部	課等名	スポーツインテグリティ推進課	担当グループ名	スポーツ振興担当	連絡先	948-6226				
	部長名	河合 洋二	課等長名	矢野 秋文	リーダー名	主幹	野口 信隆	担当者名	主査	影山 知佳	主事	吉川 英里

1. 事業概要【Plan】 ※令和元年度の内容

事務事業名(施策コード)	42212	松山市スポーツ協会運営補助金交付事業					事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金		
基本目標	健全で豊かな心を育む【教育・文化】					笑顔プログラム	個別プログラム					
政策	多彩な人材を育む						重点プロジェクト					
施策	地域スポーツの活性化						主な取り組み					
主な取り組み	地域スポーツ活動の推進					市長公約						
取り組みの柱	スポーツ少年団への支援											
総合戦略	基本目標						取組み					
	政策							(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無				
	施策											
総合計画の実施計画掲載有無(R元)	1:有り	重点的取組事業該当有無(R元)			2:無し							
根拠法令,条例,個別計画等												
事業の目的(どのような状態にするか)	市民の体力増進と健康で明るい生活づくりに寄与することを目的に各種事業に取り組んでいる「公益財団法人 松山市スポーツ協会」に事業補助を行う。											
背景(どのような経緯で開始したか)	市民の体力増進と健康で明るい生活づくりに寄与することを目的に「公益財団法人 松山市体育協会」を昭和57年に設立し、目的を達成するために取り組む各種事業を補助している。(平成30年6月から「公益財団法人 松山市スポーツ協会」に名称変更)											
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	補助金交付先:公益財団法人 松山市スポーツ協会 「公益財団法人 松山市スポーツ協会」に補助金を支出し、松山市スポーツ協会は市民の体力増進と健康で明るい生活づくりに寄与することを目的に実施している各種事業を実施する。 1. 普及事業…表彰事業、地域スポーツ振興事業、スポーツ行事の実施事業、生涯スポーツ振興助成事業、キッズスポーツプロジェクト事業、施設管理事業 2. 育成事業…大会助成事業、指導者・選手育成事業、スポーツ少年団育成事業											
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない			「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由							
始期・終期(年度)	昭和	60	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期					

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	H30年度		R元年度		R2年度	
				教育費	項	保健体育費	目	社会体育総務費	R元
現計予算額(A)(単位:千円)						55,466		55,543	54,922
決算額(B)(単位:千円)						49,154		45,711	
内訳(単位:千円) ※H30→R元 決算内訳, R2→予算内訳			国支出金			0		0	0
			県支出金			0		0	0
			市債			0		0	0
			その他			0		0	0
			一般財源			49,154		45,711	54,922
主な経費(単位:千円) ※R元→決算,R2→予算							松山市スポーツ協会運営補助金45,711千円	松山市スポーツ協会運営補助金54,922千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)			6,312		9,832	

\*決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R元年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	「公益財団法人 松山市スポーツ協会」に事業補助を行う。1. 普及事業…表彰事業、地域スポーツ振興事業、スポーツ行事の実施事業、生涯スポーツ振興助成事業、キッズスポーツプロジェクト事業、施設管理事業 2. 育成事業…大会助成事業、指導者・選手育成事業、スポーツ少年団育成事業										
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 ↓:年度当初目標どおり ↑:年度当初目標以下			左記の理由として良かった点,悪かった点など			概ね予定通り事業の実施ができたため			
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由			多くの市民の体力増進と健康で明るい生活づくりに寄与することができた。					
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R元年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルス感染症の影響で、スポーツ少年団の活動自粛										
R2年度の目標	スポーツ少年団登録者数3500人を目指す。			R2年度の主な取り組み内容(予定含む)			「公益財団法人 松山市スポーツ協会」に事業補助を行う。1. 普及事業…表彰事業、地域スポーツ振興事業、スポーツ行事の実施事業、生涯スポーツ振興助成事業、キッズスポーツプロジェクト事業、施設管理事業 2. 育成事業…大会助成事業、指導者・選手育成事業、スポーツ少年団育成事業			新型コロナウイルス感染状況を注視し、国や愛媛県からの情報を共有し、スポーツ少年団の活動やスポーツ大会等の開催について慎重な対応を行う必要がある。	



【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
		%	達成度								
		指標の種類									
		本指標の設定理由					最終目標値の設定の考え方				
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
			%	達成度							
		指標の種類									
		本指標の設定理由					最終目標値の設定の考え方				
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
%			達成度								
	指標の種類										
	本指標の設定理由					最終目標値の設定の考え方					
成果指標 (3つまで設定可)	①スポーツ少年団登録者数	人	目標値	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	目標値	3,500	
			実績値	3,031	2,964	2,861			達成年度	R4	
		%	達成度	87	85	81					
		指標の種類	5:現状維持を目指す指標(増を良しとする)						少子化が進行中、現状維持を目標値とする。		
		本指標の設定理由	スポーツ少年団登録者数の増加対策への指標となるため。				最終目標値の設定の考え方				
	公認スポーツ指導員とスポーツ少年団指導者数	人	目標値	-	850	950	1,050	1,150	目標値	1,250	
			実績値	-	801	868			達成年度	R4	
		%	達成度	-	94	91					
		指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標						第6次松山市総合計画の指標で、同様の目標設定を行っている。		
		本指標の設定理由	スポーツ活動の支援体制の充実度を示す指標であるため。				最終目標値の設定の考え方				
	③まつやまキッズポーツクラブ「つばさ」の延べ参加者数	人	目標値	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	目標値	1,100	
			実績値	580	538	743			達成年度	R4	
%		達成度	53	49	67						
	指標の種類	5:現状維持を目指す指標(増を良しとする)						少子化が進行中、現状維持を目標値とする。			
	本指標の設定理由	スポーツを日常的に行う子供の数を知る指標であり、「つばさ」の効果を測る指標となるため。				最終目標値の設定の考え方					
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標										
	成果指標	①毎年、80%以上は目標を達成している状況である。 ②愛媛国体後はスポーツ指導員・スポーツ少年団指導者の新規取得者が減少している状況である。 ③参加人数の増員により、達成度が高くなった。									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容		公益財団法人松山市スポーツ協会が事業を行うため活動指標については設定しない。									

令和2年度 松山市 事務事業シート <シートB>

評価実施年度	令和2年度	評価対象年度	令和元年度
--------	-------	--------	-------

令和2年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツインテグリティ推進課	担当グループ名	施設担当グループ	連絡先	948-6598			
	部長名	吉田 健二	課等長名	白石 信二	リーダー名	副主幹	田中 晋和	担当者名	主査	青木 琢也	
令和元年度	部局等名	総合政策部	課等名	スポーツインテグリティ推進課	担当グループ名	施設担当グループ	連絡先	948-6598			
	部長名	河合 洋二	課等長名	矢野 秋文	リーダー名	主査	青木 琢也	担当者名	主査	青木 琢也	主任 永徳 佑理

1. 事業概要【Plan】 ※令和元年度の内容

事務事業名(施策コード)	42213	総合コミュニティセンター管理運営事業					事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	3:指定管理	
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】					笑顔プログラム	個別プログラム	-			
政策	多彩な人材を育む						重点プロジェクト	-			
施策	地域スポーツの活性化						主な取り組み	-			
主な取り組み	地域スポーツ活動の推進					市長公約					
取り組みの柱	快適なスポーツ施設の提供と活用										
総合戦略	基本目標	-					取組み	-			(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無
	政策	-									
	施策	-									
総合計画の実施計画掲載有無(R元)		1:有り	重点的取組事業該当有無(R元)		2:無し						
根拠法令, 条例, 個別計画等		松山市総合コミュニティセンター条例									
事業の目的(どのような状態にするか)	松山市総合コミュニティセンターは市のスポーツ・レクリエーション・文化振興・生涯学習の活動中核拠点である。同センターの管理・運営を指定管理により行い、教育文化の振興や市民の健康増進、市民福祉の高揚に寄与する。										
背景(どのような経緯で開始したか)	昭和59年11月に体育館・温水プール・駐車場が供用開始したのを皮切りに、昭和62年4月に全館オープンした。										
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	令和元年度から令和5年3月31日までの5年間の予定で、(公財)松山市文化・スポーツ振興財団が指定管理者として、管理・運営を行っている。										
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合、基準や金額等「無し」の場合、その理由		松山市総合コミュニティセンター条例						
始期・終期(年度)	平成	18	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期				

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	総務費		総務管理費		目	総合コミュニティセンター費	R元 予算措置時期	当初	9月補正
				項	目	目	目					
				H30年度		R元年度		R2年度				
現計予算額(A) (単位:千円)				682,381		670,311		670,311		644,270		
決算額(B) (単位:千円)				664,137		646,333		646,333		644,270		
内訳(単位:千円) ※H30→R元 決算内訳, R2→予算内訳	国支出金			0		0		0		0		
	県支出金			0		0		0		0		
	市債			0		800		800		0		
	その他			229,359		232,600		232,600		233,600		
一般財源			434,778		412,933		412,933		410,670			
主な経費(単位:千円) ※R元→決算,R2→予算						指定管理料 610,070千円		指定管理料		620,927千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						決算額のうち3,527千円は前年度繰越分						
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		18,244		23,978				

\*決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R元年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	(公財)松山市文化・スポーツ振興財団へ指定管理者として管理・運営を委託										
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	年間を通じて円滑な運営管理が行われた。							
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由		本事業の実施により、適正な施設の運営管理が行われ、市民の円滑な利用に繋がっている。							
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない					
R元年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルス感染症の影響による、施設利用者数や使用料収入の低下										
R2年度の目標	新型コロナウイルス感染症対策のため、施設利用を停止したことにより利用者数が減少している。私たちは通常運営に戻すために適正な施設の管理運営に努め、使用料収入198,940千円を目指す。		R2年度の主な取り組み内容(予定含む)	(公財)松山市文化・スポーツ振興財団へ指定管理を委託	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R2年度で取り組む改善策	新型コロナウイルス感染症に対応しながら、入館者数確保のために円滑な維持管理に努める。					

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	開館日数	日	目標値	319	319	319	317	320	目標値	320	
			実績値	320	321	324			達成年度	R3年度	
			% 達成度	100	101	102					
	指標の種類	5:現状維持を目指す指標(増を良しとする)					最終目標値の設定の考え方	曜日・祝日等の影響で基本の営業日数は変動するため、毎年度ごとに目標値を定める。			
	本指標の設定理由	施設を利用できる状態にしている具体的な数字であるため									
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
			% 達成度								
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
		目標値							目標値		
		実績値							達成年度		
		% 達成度									
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	使用料収入	千円	目標値	219,800	240,000	198,653	198,940	199,221	目標値	199,792	
			実績値	230,978	225,091	226,624			達成年度	R5年度	
			% 達成度	105	94	114					
	指標の種類	5:現状維持を目指す指標(増を良しとする)					最終目標値の設定の考え方	指定管理者制度導入施設の使用料等の目標設定(KGI指数)とする。			
	本指標の設定理由	施設を利用できる状態にしている具体的な数字であるため									
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
			% 達成度								
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
		目標値							目標値		
		実績値							達成年度		
		% 達成度									
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	目標を超える開館ができ、適切な管理運営が行えている。									
	成果指標	目標値を超える収入を達成できた。									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和2年度 松山市 事務事業シート <シートB>

評価実施年度	令和2年度	評価対象年度	令和元年度
--------	-------	--------	-------

令和2年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツインテグリティ推進課	担当グループ名	施設担当グループ	連絡先	948-6598			
	部等長名	吉田 健二	課等長名	白石 信二	リーダー名	副主幹	田中 晋和	担当者名	主査	毛利 清一	
令和元年度	部局等名	総合政策部	課等名	スポーツインテグリティ推進課	担当グループ名	施設担当グループ	連絡先	948-6598			
	部等長名	河合 洋二	課等長名	矢野 秋文	リーダー名	主査	青木 琢也	担当者名	主任	毛利 清一	

1. 事業概要【Plan】 ※令和元年度の内容

事務事業名(施策コード)	42213	野外活動センター管理運営事業				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	3:指定管理	
基本目標	健全で豊かな心を育む【教育・文化】				笑顔プログラム	個別プログラム	-			
政策	多彩な人材を育む					重点プロジェクト	-			
施策	地域スポーツの活性化					主な取り組み	-			
主な取り組み	地域スポーツ活動の推進				市長公約					
取り組みの柱	快適なスポーツ施設の提供と活用									
総合戦略	基本目標	-				取組み	-			(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無
	政策	-					-			
	施策	-					-			
総合計画の実施計画掲載有無(R元)	1:有り		重点的取組事業該当有無(R元)		2:無し					
根拠法令,条例,個別計画等	松山市野外活動センター条例、松山市野外活動センター条例施行規則									
事業の目的(どのような状態にするか)	野外活動及びスポーツ施設の拠点として、スポーツ・レクリエーションや豊かな自然に触れ合うことのできる場を提供し、市民の健康維持・増進に寄与する。									
背景(どのような経緯で開始したか)	平成元年7月のキャンプゾーン一部オープンを皮切りに順次整備を進め、平成10年4月に全面オープンしたレクリエーション施設である。レインボーハイランドとして親しまれ、管理運営を(公財)松山市文化・スポーツ振興財団が行っている。									
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	<対象>スクールゾーン、キャンプゾーン、アドベンチャーゾーンの3つのゾーンで構成されており、子供から大人まで楽しめる野外活動センター施設となっている。 <事業内容> ・平成31年度から5年間の予定で、(公財)松山市文化・スポーツ振興財団が指定管理者として管理・運営を行っている。									
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り		「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由		松山市野外活動センター条例、松山市野外活動センター条例施行規則に基づく使用料				
始期・終期(年度)	平成	元	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費		社会教育費		目	野外活動センター費	R元	予算措置時期	当初	9月補正
				項	目	目	目						
				H30年度				R元年度		R2年度			
現計予算額(A) (単位:千円)				230,117				218,358		211,542			
決算額(B) (単位:千円)				182,836				196,806					
内訳(単位:千円) ※H30→R元 決算内訳, R2→予算内訳	国支出金			0		0		0		0			
	県支出金			0		0		0		0			
	市債			0		0		0		0			
	その他			15,426		30,202		36,000					
一般財源			167,410		166,604		175,542						
主な経費(単位:千円) ※R元→決算,R2→予算				指定管理料 183,800千円 工事請負費 7,675千円				指定管理料 203,715千円 工事請負費 7,755千円					
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等													
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		47,281		21,552					

\*決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R元年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・(公財)松山市文化・スポーツ振興財団へ指定管理を委託 ・バックホウ及び不整地整備車購入 ・体育館フロア補修工事 ・200tタンク揚水ポンプ2台交換工事										
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など			一部施設を閉鎖した状態にもかかわらず、利便性向上につながる取組や魅力ある自主事業を行うなど、適切な維持管理を行うことができた。				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由			自然を身近に感じるとともに市民の健康維持・増進に寄与する施設として必要不可欠であると考えられるため。					
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R元年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	工事の進捗により本格的な再開時期が令和2年度になったことや、新型コロナウイルス感染症の影響により、離れてしまった利用者呼び戻すための魅力ある施設運営に努める必要がある。										
R2年度の目標	新型コロナウイルス感染症対策のため、施設利用を停止したことにより利用者数が減少している。私たちは、通常運営に戻すために適正な施設の管理運営に努め、使用料収入31,360千円を目指す。			R2年度の主な取り組み内容(予定含む)			・(公財)松山市文化・スポーツ財団への指定管理による施設維持管理 ・キャンプゾーン屋根塗装工事		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R2年度で取組む改善策		
	施設の本格的な再開に取り組み、野外活動センターの魅力効果を効果的に発信していく。										

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	営業日数	日	目標値	321	327	321	320	324	目標値	324	
			実績値	321	171	335			達成年度	R3年度	
			% 達成度	100	52	104					
	指標の種類	5:現状維持を目指す指標(増を良しとする)					最終目標値の設定の考え方	曜日・祝日等の影響で基本営業日数は変動するため、毎年度目標値を定める。			
	本指標の設定理由	施設を利用できる状態にしている具体的な数字であるため。									
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
			% 達成度								
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
		目標値							目標値		
		実績値							達成年度		
		% 達成度									
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	使用料収入	千円	目標値	40,387	40,000	26,000	31,360	33,200	目標値	37,000	
			実績値	46,889	14,613	27,581			達成年度	R5年度	
			% 達成度	116	37	106					
	指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標					最終目標値の設定の考え方	指定管理者制度導入施設の使用料等の目標設定(KGI指数)とする。			
	本指標の設定理由	施設利用状況を示す指標であるため。									
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
			% 達成度								
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
		目標値							目標値		
		実績値							達成年度		
		% 達成度									
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	予定通りの営業を行うことができ、良好である。									
	成果指標	一部施設を閉鎖した状態での営業にもかかわらず利便性の向上につながる取組や魅力ある事業を展開したことで、使用料収入の目標を達成することができた。									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和2年度 松山市 事務事業シート <シートB>

評価実施年度	令和2年度	評価対象年度	令和元年度
--------	-------	--------	-------

令和2年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツインテグリティ推進課	担当グループ名		施設担当グループ		連絡先	948-6598
	部等長名	吉田 健二	課等長名	白石 信二	リーダー名	副主幹	田中 晋和	担当者名	主査	毛利 清一
令和元年度	部局等名	総合政策部	課等名	スポーツインテグリティ推進課	担当グループ名		施設担当グループ		連絡先	948-6598
	部等長名	河合 洋二	課等長名	矢野 秋文	リーダー名	主査	青木 琢也	担当者名	主任	永徳 佑理

1. 事業概要【Plan】 ※令和元年度の内容

事務事業名(施策コード)	42213	スポーツセンター管理事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	3:指定管理	
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	多彩な人材を育む			重点プロジェクト	-		
施策	地域スポーツの活性化			主な取り組み	-		
主な取り組み	地域スポーツ活動の推進		市長公約				
取り組みの柱	快適なスポーツ施設の提供と活用						
総合戦略	基本目標	-		取組み	-		
	政策	-			(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無		
	施策	-			-		
総合計画の実施計画掲載有無(R元)	1:有り		重点的取組事業該当有無(R元)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	松山市体育施設条例、松山市体育施設条例規則						
事業の目的(どのような状態にするか)	松山市北部地域のスポーツ拠点として、市民にスポーツ活動・レクリエーション活動を行える場所を提供する。						
背景(どのような経緯で開始したか)	平成17年1月に旧北条市との合併により、旧北条スポーツセンター及び北条体育館が松山市の管理施設となった。現在の北条スポーツセンターは、平成19年7月に球技場を供用開始したのを皮切りに順次供用開始し、平成23年4月に体育館を供用開始して第1期整備は完了した。次いで、第2期整備として平成28年4月に野球場を供用開始した。						
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	<対象>北条スポーツセンター及び北条体育館 <事業内容> ・平成31年度から5年間の予定で、(公財)松山市文化・スポーツ振興財団が指定管理者として管理・運営を行っている。						
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由	松山市体育施設条例、松山市体育施設条例規則に基づく使用料			
始期・終期(年度)	平成	元	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	H30年度		R元年度		R2年度			
				教育費	項	保健体育費	目	体育施設費	R元	予算措置時期	当初
現計予算額(A)(単位:千円)						107,077		136,574		141,931	
決算額(B)(単位:千円)						96,148		125,164			
内訳(単位:千円) ※H30→R元 決算内訳, R2→予算内訳			国支出金			0				0	
			県支出金			0				0	
			市債			0					0
			その他			18,271		19,295			17,700
			一般財源			77,877		105,869		124,231	
主な経費(単位:千円) ※R元→決算,R2→予算						指定管理料 92,719千円 工事請負費 21,077千円		指定管理料 102,388千円 工事請負費 30,350千円 備品購入費 8,993千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)			10,929		11,410			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R元年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・(公財)松山市文化・スポーツ振興財団へ指定管理を委託 ・陸上競技場南法面打音調査業務委託 ・野球場法面吹付工事					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	年間を通じて円滑な運営管理が行えた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	本事業の実施により、適正な施設運営が行われ、市民の円滑な利用に繋がっているため。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R元年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルス感染症の影響による、施設利用者数や使用料収入の低下					
R2年度の目標	新型コロナウイルス感染症対策のため、施設利用を停止したことにより利用者数が減少している。たちまち、通常運営に戻すために適正な施設の管理運営に努め、使用料収入17,500千円を目指す。		R2年度の主な取り組み内容(予定含む)	・(公財)松山市文化・スポーツ振興財団へ指定管理を委託 ・陸上競技場南法面補強工事		新型コロナウイルス感染症に対応しながら、利用者数確保のために円滑な維持管理に努める。



【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	開館日数	日	目標値	361	359	359	359	359	目標値	359	
			実績値	361	359	360			達成年度	R3年度	
			% 達成度	100	100	100					
	指標の種類	5:現状維持を目指す指標(増を良しとする)					最終目標値の設定の考え方	大型工事等の影響で基本の開館日数は変動するため、毎年度目標値を定める。			
	本指標の設定理由	施設を利用できる状態にしている具体的な数字であるため。									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
			% 達成度								
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	使用料収入	千円	目標値	18,500	19,500	19,500	17,500	17,580	目標値	17,910	
			実績値	15,297	16,241	17,001			達成年度	R5年度	
			% 達成度	83	83	87					
	指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標					最終目標値の設定の考え方	指定管理者制度導入施設の使用料等の目標設定(KGI指数)とする。			
	本指標の設定理由	施設利用状況を示す指標であるため。									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
			% 達成度								
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	予定通りの開館を行うことができ、良好である。									
	成果指標	屋外施設が天候の影響を受けやすいことや、工事の影響で野球場の利用を停止したことに伴い、使用料収入は目標を達成することができなかった。									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和2年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和2年度	評価対象年度	令和元年度
--------	-------	--------	-------

令和2年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツインテグリティ振興課	担当グループ名		施設担当	連絡先	997-2211
	部等長名	吉田 健二	課等長名	白石 信二	リーダー名	副主幹	田中 晋和	担当者名	副主幹 大堀 英世 主任 新藤成人
令和元年度	部局等名	総合政策部	課等名	スポーツインテグリティ振興課	担当グループ名		施設担当	連絡先	997-2211
	部等長名	河合 洋二	課等長名	矢野 秋文	リーダー名	主査	青木 琢也	担当者名	副主幹 大堀 英世 主任 山崎泰平

1. 事業概要【Plan】 ※令和元年度の内容

事務事業名(施策コード)	42213	中島B&G海洋センター事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	健全で豊かな心を育む【教育・文化】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	多彩な人材を育む			重点プロジェクト	-	
施策	地域スポーツの活性化			主な取り組み	-	
主な取り組み	地域スポーツ活動の推進		市長公約			
取り組みの柱	快適なスポーツ施設の提供と活用					
総合戦略	基本目標	-	取り組み	-		
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R元)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R元)	2:無し		
根拠法令,条例,個別計画等 松山市体育施設条例						
事業の目的(どのような状態にするか)	中島B&G海洋センターは、体育館(アリーナ・トレーニングルーム・ミーティングルーム)と、プールを持つスポーツレクリエーションの総合施設であり、市民の健康増進につながる様々なイベントやスポーツ教室を年間を通して開設している。また、海洋スポーツ等を通じた青少年の健全育成を促進するため、海洋クラブ活動を年間25回程度実施している。さらに、夏季には海に親しむ機会を作ってもらうため、海洋性レクリエーション指導員の派遣を行っている。					
背景(どのような経緯で開始したか)	昭和59年開設(公益財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団により建設され、昭和62年に旧中島町に無償譲渡された。平成17年に松山市と合併し、松山市中島B&G海洋センターとして運営中。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	(対象) ・施設の貸出や、健康増進につながるイベント・教室の開催は、主に中島に住む住民が対象である。海洋クラブ活動は、主に中島の小中学生(島外からも8名参加)が対象である。海洋性レクリエーションを中心とした体験イベントは、主に松山市主催事業の参加者(島外小中学生)が対象である。 (事業内容) ・体育館・プール(夏季限定)施設の維持管理と市民への貸出業務 ・年間を通じて様々なスポーツイベントを開催 ・海洋クラブの充実(海洋性スポーツ等を通じた青少年の健全育成) ・B&G財団との連携による各種事業の開催 ・中島で開催される各種事業との連携(体験型の海洋性スポーツを実施)					
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合、基準や金額等「無し」の場合、その理由	松山市体育施設条例に使用料の定めあり		
始期・終期(年度)	昭和 59	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費	項	保健体育費	目	体育施設費	R元予算措置時期	
									当初	9月補正
				H30年度		R元年度		R2年度		
現計予算額(A)(単位:千円)				13,879		38,958		8,442		
決算額(B)(単位:千円)				7,069		36,923				
内訳(単位:千円) ※H30→R元 決算内訳, R2→予算内訳	国支出金					0		0		
	県支出金			0		0		0		
	市債			0		10,000		0		
	その他			291		12,885		260		
一般財源			6,778		14,038		8,182			
主な経費(単位:千円) ※R元→決算,R2→予算						・委託料:施設維持のための保守点検等 1,188千円 ・工事請負費:体育館外壁改修工事費 26,112千円		・委託料:施設維持のための保守点検等1,508千円 ・需用費:光熱費、修繕料、消耗品費等2,937千円 ・工事請負費:1,465千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						工事請負費:9月補正で1,316千円をAに追加 その他:財団からの外壁工事助成金12600千円+歳入の使用料242千円+雑入42千円				
予算執行残額(単位:千円)	(A)-(B)			6,810		2,035				

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R元年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・海洋性レクリエーションを中心とした体験イベントの実施 ・島以外からも海洋クラブへの参加者を募る ・B&G財団主催イベントへの積極的な参加 ・他課及び他団体との連携による海洋性スポーツの普及活動					
主な取り組み内容の達成度	↑	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	・施設利用者が昨年度を上回った。 ・センター評価が11年連続特Aを維持し、それに伴い外壁修繕工事の助成金がB&G財団から得られた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由		スポーツ、健康維持の施設として年間約1000人以上に利用されており、延いては離島振興に貢献している。		
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R元年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	・当センターは昭和59年ころ建設され、外壁修繕工事をR1年度に行ったものの基本的には機器類も含め全体的に経年劣化が進んでいる。 ・離島であり高齢化、人口減少が進んでおり、利用者の確保が課題である。					
R2年度の目標	・スポーツを通じた市民の憩いの場であると同時に、健康増進の拠点としての役割を果たしていく。 ・社会教育等との連携や新規事業の実施等により、前年度のセンター利用者数より10%の増加を図る。		R2年度の主な取り組み内容(予定含む)	・プールを含む体育施設の貸館業務 ・海洋性レクリエーション(体験イベント)の実施 ・新たなスポーツ教室の開催 ・他課との連携による新たな施設利用者、海レク体験者を募る		・愛媛県B&G連絡協議会主催のスポーツ大会等への積極的参加 ・夏季にイベントを行う他課との連携による、海洋性レクリエーション体験の実施 ・小中学校と連携した行事の開催に努める

令和2年度	部局等名	坂の上的雲まちづくり部	課等名	スポーティンクシティ推進課	担当グループ名	施設担当グループ	連絡先	948-6598		
	部等長名	吉田 健二	課等長名	白石 信二	リーダー名	副主幹	担当者名	主査	毛利 清一	
令和元年度	部局等名	総合政策部	課等名	スポーティンクシティ推進課	担当グループ名	施設担当グループ	連絡先	948-6598		
	部等長名	河合 洋二	課等長名	矢野 秋文	リーダー名	主査	担当者名	主任	毛利 清一	

1. 事業概要【Plan】 ※令和元年度の内容

事務事業名(施策コード)	42213	体育施設管理運営事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	3:指定管理	
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	多彩な人材を育む			重点プロジェクト	-		
施策	地域スポーツの活性化		市民長約	主な取り組み	-		
主な取り組み	地域スポーツ活動の推進						
取り組みの柱	快適なスポーツ施設の提供と活用						
総合戦略	基本目標	-	取組み	-		(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無	
	政策	-					
	施策	-					
総合計画の実施計画掲載有無(R元)	1:有り	重点的取組事業該当有無(R元)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	松山市体育施設条例,松山市体育施設条例規則						
事業の目的(どのような状態にするか)	体育施設を円滑に維持管理し、充実したスポーツ施設を市民に提供する。						
背景(どのような経緯で開始したか)	利用者が目的に応じ安心して気軽にスポーツを楽しむほか、市民のレクリエーション活動や憩いの場として活用するために順次開設し、維持管理を行っている。						
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	<対象>・別府市民運動広場:昭和58年・拓川市民運動広場:昭和60年・空港東第四公園テニスコート:平成元年・湯月公園テニスコート:昭和28年・重信川ソフトボール広場:昭和54年・河野別府公園体育施設・市民グラウンド:平成元年、サブグラウンド:平成6年、テニスコート:平成2年・北条公園(北橋運動広場):昭和52年 <事業内容>施設の運営・維持管理や改修工事等を行っている。 ・施設の運営・維持管理のための指定管理に関する事務・各種工事・各種備品等の充実・修繕 ・別府市民運動広場、拓川市民運動広場、空港東第四公園テニスコート、湯月公園テニスコート、重信川ソフトボール広場:奥アンツーカ株式会社へ委託 ・河野別府公園体育施設(市民グラウンド、サブグラウンド、テニスコート):ふるさと北条ファンづくり応援団へ委託・北条公園(北橋運動広場):ふるさと北条ファンづくり応援団へ委託						
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由	松山市体育施設条例,松山市体育施設条例規則に基づく使用料			
始期・終期(年度)	昭和	28	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	H30年度		R元年度		R2年度	
				教育費	保健体育費	目	体育施設費	R元	予算措置時期
現計予算額(A)(単位:千円)					51,152		92,286		74,872
決算額(B)(単位:千円)					48,968		55,929		
内訳(単位:千円) ※H30→R元 決算内訳, R2→予算内訳			国支出金		0		0		0
			県支出金		0		0		0
			市債		0		13,100		20,100
			その他		16,637		16,089		16,500
			一般財源		32,331		26,740		38,272
主な経費(単位:千円) ※R元→決算,R2→予算					委託料 39,052千円 工事請負費 16,469千円		委託料 39,002千円 工事請負費 7,958千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等							予算額のうち26,920千円は前年度繰越分		
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)			2,184		36,357		

\*決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R元年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・指定管理等による施設維持管理 ・スポーツ施設ストック適正化計画の策定業務委託 ・湯月公園テニスコート(1・2コート)整備工事 ・湯月公園テニスコートフェンス改修工事					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	指定管理者と連携し、適切な維持管理を行うことができた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	本事業で維持管理しているスポーツ施設の利用者は、年間延べ25万人を超えており、地域スポーツ活動の推進にとって必要不可欠であると考えられるため。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R元年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルス感染症の影響による、施設利用者数や使用料収入の低下					
R2年度の目標	新型コロナウイルス感染症対策のため、施設利用を停止したことにより利用者数が減少している。私たちは、通常運営に戻すために適正な施設の管理運営に努め、使用料収入16,392千円を目指す。		R2年度の主な取り組み内容(予定含む)	・指定管理等による施設維持管理 ・施設の修繕工事 ・重信川ソフトボール広場第3コート整備工事 ・スポーツ施設ストック適正化計画策定業務委託		新型コロナウイルス感染症に対応しながら、利用者数確保のために円滑な維持管理に努める。

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	開場日数	日	目標値	359	359	359	359	359	目標値	359	
			実績値	359	359	359			達成年度	R3年度	
			% 達成度	100	100	100					
	指標の種類	5:現状維持を目指す指標(増を良しとする)					最終目標値の設定の考え方	工事等の影響で基本の会場日数は変動する可能性があるため、毎年度目標値を定める。			
	本指標の設定理由	施設を利用できる状態にしている具体的な数字であるため。									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
			% 達成度								
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	使用料収入	千円	目標値	15,720	16,230	16,651	16,587	17,524	目標値	17,732	
			実績値	16,288	16,168	15,614			達成年度	R5年度	
			% 達成度	104	100	94					
	指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標					最終目標値の設定の考え方	指定管理者制度導入施設の使用料等の目標設定(KGI指数)とする。			
	本指標の設定理由	施設の利用状況の目安となる数字であるため。(重信川ソフトボール広場除く)									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
			% 達成度								
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	予定通りの開場を行うことができ、良好である。									
	成果指標	屋外施設であることから天候の影響を受けやすく、利用人数は目標を達成することができなかった。									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和2年度 松山市 事務事業シート <シートB>

評価実施年度	令和2年度	評価対象年度	令和元年度
--------	-------	--------	-------

令和2年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツインテグリティ推進課	担当グループ名	施設担当グループ	連絡先	948-6597
	部等長名	吉田 健二	課等長名	白石 信二	リーダー名	副主幹	担当者名	主事 林 直輝
令和元年度	部局等名	総合政策部	課等名	スポーツインテグリティ推進課	担当グループ名	施設担当グループ	連絡先	948-6597
	部等長名	河合 洋二	課等長名	矢野 秋文	リーダー名	主査	担当者名	主任 三瀬 香

1. 事業概要【Plan】 ※令和元年度の内容

事務事業名(施策コード)	42213	中央公園管理運営事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	3:指定管理	
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	多彩な人材を育む			重点プロジェクト	-		
施策	地域スポーツの活性化		市民長約	主な取り組み	-		
主な取り組み	地域スポーツ活動の推進						
取り組みの柱	快適なスポーツ施設の提供と活用						
総合戦略	基本目標	-	取組み		(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無		
	政策	-					
	施策	-					
総合計画の実施計画掲載有無(R元)	1:有り	重点的取組事業該当有無(R元)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	スポーツ基本法・松山中央公園体育施設条例						
事業の目的(どのような状態にするか)	スポーツ施設の拠点・スポーツ公園として、スポーツ・レクリエーションの場を提供して、市民の健康維持・増進に寄与する。						
背景(どのような経緯で開始したか)	平成15年9月に地方自治法の一部改正により、公の施設管理について、指定管理者制度が導入され、それに伴い平成18年度から同施設も導入した。						
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	令和元年度から5年間について、指定管理者として松山中央公園の管理・運営を行ってもらうため、(公財)松山文化・スポーツ振興財団に指定管理料を支出している。						
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由	松山中央公園体育施設条例第5条に基づき使用料を定めている。			
始期・終期(年度)	平成	18	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	H30年度		R元年度		R2年度	
				教育費	項	保健体育費	目	中央公園管理費	R元
現計予算額(A)(単位:千円)						604,485	623,775		615,531
決算額(B)(単位:千円)						590,947	614,500		
内訳(単位:千円) ※H30→R元 決算内訳, R2→予算内訳		国支出金		0		0	0		0
		県支出金		0		0	0		0
		市債		0		0	0		0
		その他		151,484		150,069		158,300	
		一般財源		439,463		464,431		457,231	
主な経費(単位:千円) ※R元→決算,R2→予算						・松山中央公園指定管理料 571,219千円	・松山中央公園指定管理料 582,438千円 ・工事請負費 8,050千円 ・案内予約システムサービス料 7,921千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)		13,538		9,275			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R元年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	(公財)松山市文化・スポーツ振興財団へ指定管理者として松山中央公園の管理・運営を委託				
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	年間を通じて円滑な運営管理が行われた。	
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	本事業の実施により、適正な施設の運営管理が行われ、市民の円滑な利用に繋がっている。		
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1
R元年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルス感染症による、施設利用者数や使用料収入の低下				
R2年度の目標	新型コロナウイルス感染症対策のため、施設利用を停止したことにより利用者数が減少している。たちまちには通常運営に戻すために適正な施設の管理運営に努め、使用料収入128,100千円を目指す。		R2年度の主な取り組み内容(予定含む)	(公財)松山市文化・スポーツ振興財団へ指定管理を委託	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R2年度で取り組む改善策
					新型コロナウイルス感染症に対応しながら、利用人数確保のために円滑な維持管理に努める。

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	開館日数	日	目標値	319	315	320	317	320	目標値	320	
			実績値	320	322	323			達成年度	R3年度	
			% 達成度	100.3%	102.2%	100.9%					
	指標の種類	5:現状維持を目指す指標(増を良しとする)					最終目標値の設定の考え方	曜日・祝日等の影響で基本営業日は変動するため、毎年度ごとに目標値を定める。			
	本指標の設定理由	施設の利用状況の目安となる数字であるため									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
% 達成度											
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	使用料	千円	目標値	145,200	160,100	125,200	128,100	129,500	目標値	129,500	
			実績値	131,424	142,796	140,421			達成年度	R3年度	
			% 達成度	90.5%	89.2%	112.2%					
	指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標					最終目標値の設定の考え方	指定管理者制度導入施設の使用料等の目標設定(KGI指数)とする。			
	本指標の設定理由	施設の利用状況の目安となる数字であるため									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
% 達成度											
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	目標を超える開館ができ、適切な管理運営が行えている。									
	成果指標	使用料収入は減少しているが、目標値を超える収入を達成できた。減少要因については、悪天候(雨天・猛暑)が多かった影響でアクアバレットまつやまの利用率が低下したためと考えられる。									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											



令和2年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和2年度	評価対象年度	令和元年度
--------	-------	--------	-------

令和2年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーティンクシティ推進課	担当グループ名		施設担当グループ		連絡先	948-6597
	部等長名	吉田 健二	課等長名	白石 信二	リーダー名	副主幹	田中 晋和	担当者名	主事	林 直輝
令和元年度	部局等名	総合政策部	課等名	スポーティンクシティ推進課	担当グループ名		施設担当グループ		連絡先	948-6597
	部等長名	河合 洋二	課等長名	矢野 秋文	リーダー名	主査	青木 琢也	担当者名	主任	三瀬 香

1. 事業概要【Plan】 ※令和元年度の内容

事務事業名(施策コード)	42213	野球歴史資料館維持管理事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託	
基本目標	健全で豊かな心を育む【教育・文化】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	多彩な人材を育む			重点プロジェクト	-		
施策	地域スポーツの活性化		市長公約	主な取り組み	-		
主な取り組み	地域スポーツ活動の推進						
取り組みの柱	快適なスポーツ施設の提供と活用						
総合戦略	基本目標	-	取組み	-	(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無	-	
	政策	-				-	
	施策	-				-	
総合計画の実施計画掲載有無(R元)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R元)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等							
事業の目的(どのような状態にするか)	坊っちゃんスタジアムの施設内に、正岡圭規が伝えたと言われる野球の歴史資料館を開館しており、アマチュア野球を中心に貴重な資料等の展示を行っている。野球歴史資料館維持管理事業は、市民はもとより、松山を訪れる野球ファンに來館していただき、愛媛の野球史に興味を持っていただけるよう、展示物を整備することを目的とする。						
背景(どのような経緯で開始したか)	現在も利用されているゲーム(バーチャルピッチング)のコーナーは、平成12年の坊っちゃんスタジアムオープンから設けられていた。そして、平成14年のオールスターゲームが開催されたことを契機に、プロ野球に関する展示が新たに加わったものの、輝かしい成績を取ってきた高校野球や社会人野球といったアマチュア野球に関する資料等を広く市民に閲覧していただく機会や場所は無い状況であった。そこで、歴史が深いアマチュア野球を含めた形で、愛媛の野球に関して顕彰を行い、後世に引き継いでいきたいという気運が高まったことにより、本事業が開始された。						
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	公益財団法人松山市スポーツ協会に野球歴史資料館の維持管理を委託するため、委託料を支出している。						
受益者負担の状況	負担の有無	2:無し	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由	愛媛の野球に関して顕彰を行い、後世に引き継いでいきたいという経緯から、入場料を徴収することはそぐわないため。			
始期・終期(年度)	平成	14	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	H30年度		R元年度		R2年度	
				教育費	項	保健体育費	目	中央公園管理費	R元予算措置時期
現計予算額(A)(単位:千円)						6,934		7,487	7,387
決算額(B)(単位:千円)						6,736		6,786	
内訳(単位:千円) ※H30→R元 決算内訳, R2→予算内訳			国支出金			0		0	0
			県支出金			0		0	0
			市債			0		0	0
			その他			100		103	100
			一般財源			6,636		6,683	7,287
主な経費(単位:千円) ※R元→決算,R2→予算							委託料 6,786千円		委託料 7,387千円
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)			198		701	

\*決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R元年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	公益財団法人松山市スポーツ協会へ野球歴史資料館の維持管理を委託					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	年間を通じて滞りなく運営を行うことができたため。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	令和元年度の野球歴史資料館の入館者数は、アマチュア野球コーナーとプロ野球コーナーを合わせて、年間延べ約1万2千人であり、愛媛の野球を顕彰し後世に引き継いでいくにあたっては、必要不可欠な施設であると考えられる。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R元年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルス感染症の影響による、入館者数の減少					
R2年度の目標	円滑な維持管理を行い、前年度程度(1万2千人)の入館者数の確保に努めたい。		R2年度の主な取り組み内容(予定含む)	・公益財団法人松山市スポーツ協会へ野球歴史資料館の維持管理を委託 ・新たな資料等を提供いただける場合の積極的な受入れ	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R2年度で取り組み改善策	新型コロナウイルス感染症に対応しながら、入館者数確保のために円滑な維持管理に努める。

令和2年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーティングシティ推進課	担当グループ名		施設担当グループ		連絡先	948-6597
	部等長名	吉田 健二	課等長名	白石 信二	リーダー名	副主幹	田中 晋和	担当者名	主事	林 直輝
令和元年度	部局等名	総合政策部	課等名	スポーティングシティ推進課	担当グループ名		施設担当グループ		連絡先	948-6597
	部等長名	河合 洋二	課等長名	矢野 秋文	リーダー名	主査	青木 琢也	担当者名	主任	三瀬 香

1. 事業概要【Plan】 ※令和元年度の内容

事務事業名(施策コード)	42213	中央公園改修整備事業			事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	健全で豊かな心を育む【教育・文化】				笑顔プログラム	個別プログラム		
政策	多彩な人材を育む					重点プロジェクト		
施策	地域スポーツの活性化					主な取り組み		
主な取り組み	地域スポーツ活動の推進				市長公約			
取り組みの柱	快適なスポーツ施設の提供と活用							
総合戦略	基本目標				取組み			
	政策							
	施策							
総合計画の実施計画掲載有無(R元)		1:有り	重点的取組事業該当有無(R元)		2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等		スポーツ基本法・松山中央公園体育施設条例						
事業の目的(どのような状態にするか)	多くの市民等にスポーツ・レクリエーションの場を提供している中央公園体育施設の、安全で快適な施設提供を目的とする。							
背景(どのような経緯で開始したか)	各施設とも経年劣化による摩耗・劣化が見受けられ、体育施設等の機能を維持するために改修・修繕を行う。							
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	施設の状況を確認しながら、随時改修工事を行っている。							
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない		「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由				
始期・終期(年度)	平成 18	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	H30年度		R元年度		R2年度	
				教育費	項	保健体育費	目	中央公園管理費	R元
現計予算額(A)(単位:千円)						464,190		202,358	407,710
決算額(B)(単位:千円)						236,381		197,905	
内訳(単位:千円) ※H30→R元 決算内訳, R2→予算内訳		国支出金				0		0	0
		県支出金				0		0	0
		市債				206,700		0	366,900
		その他				0		0	0
		一般財源				29,681		197,905	40,810
主な経費(単位:千円) ※R元→決算,R2→予算						委託料 14,740千円 工事請負費 7,095千円		工事請負費 407,710千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						決算額のうち176,070千円は前年度繰越分			
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)				227,809		4,453	

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R元年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>坊っちゃんスタジアムナイター照明改修設計業務委託</li> <li>坊っちゃんスタジアム音響設備改修工事</li> </ul>							
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	優先順位の高いものから改修を行うことができた。				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由		本事業の実施により、適正な施設の運営管理が行われ、市民の円滑な利用に繋がっている。				
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R元年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	限られた予算内で改修することから、突発的な工事については、優先順位を付けて実施すること並びに大規模の改修工事では、利用者に影響が出ない時期等を見据えて取り組むことが必要である。							
R2年度の目標	体育施設等の機能を維持するために、改修・修繕を行うとともに、安全で快適な施設を提供するために、計画的に取り組む。		R2年度の主な取り組み内容(予定含む)	坊っちゃんスタジアムナイター照明改修工事		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R2年度で取り組む改善策		大規模な施設改修を今後実行していくための改修計画を整理・検討する。

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	
活動指標 (3つまで設定可)			目標値						目標値	
			実績値						達成年度	
			% 達成度							
	指標の種類									
	本指標の設定理由					最終目標値の設定の考え方				
				目標値						目標値
				実績値						達成年度
				% 達成度						
	指標の種類									
	本指標の設定理由					最終目標値の設定の考え方				
				目標値						目標値
				実績値						達成年度
% 達成度										
指標の種類										
本指標の設定理由					最終目標値の設定の考え方					
成果指標 (3つまで設定可)			目標値						目標値	
			実績値						達成年度	
			% 達成度							
	指標の種類									
	本指標の設定理由					最終目標値の設定の考え方				
				目標値						目標値
				実績値						達成年度
				% 達成度						
	指標の種類									
	本指標の設定理由					最終目標値の設定の考え方				
	上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標								
		成果指標								
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容	計画的な施設の改修のほか、随時必要な箇所に対して修繕・改修を実施していく事業であることから、指標が設定できない。									

令和2年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツインテグリティ推進課	担当グループ名	施設担当グループ	連絡先	948-6598		
	部等長名	吉田 健二	課等長名	白石 信二	リーダー名	副主幹	担当者名	主査	毛利 清一	
令和元年度	部局等名	総合政策部	課等名	スポーツインテグリティ推進課	担当グループ名	施設担当グループ	連絡先	948-6598		
	部等長名	河合 洋二	課等長名	矢野 秋文	リーダー名	主査	担当者名	主任	毛利 清一	

1. 事業概要【Plan】 ※令和元年度の内容

事務事業名(施策コード)	42213	野外活動センター施設災害復旧事業	事業性質	2:その他	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	多彩な人材を育む			重点プロジェクト	-	
施策	地域スポーツの活性化			主な取り組み	-	
主な取り組み	地域スポーツ活動の推進		市長公約			
取り組みの柱	快適なスポーツ施設の提供と活用					
総合戦略	基本目標	-		取組み	-	
	政策	-			(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無	
	施策	-			-	
総合計画の実施計画掲載有無(R元)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R元)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	松山市野外活動センター条例、松山市野外活動センター条例施行規則					
事業の目的(どのような状態にするか)	平成30年7月の西日本豪雨により複数箇所発生した崩落箇所を復旧し、市民が安全・安心に利用できるスポーツ施設を提供することを目的とする。					
背景(どのような経緯で開始したか)	西日本豪雨の影響で被害を受けた箇所は以下のとおり。 ①施設入口付近の園内道路法面の崩落(2か所) ②園内通路が寸断(パーベキュー広場東斜面、ローラースライダー南斜面) ③法面崩落(多目的グラウンド北側、西側、貯水槽周辺、クラフト教室東) ④崩落により敷地外への土砂流出(4か所)					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	<対象>スポーツ及び野外活動を楽しむ市民を広く対象にしている。 <事業内容> ・株式会社フライト設計コンサルタントへ応急復旧工事に係る業務委託料を支出。 ・株式会社坂本重機建設へ応急復旧の工事請負費を支出。 ・株式会社フライト設計コンサルタントへ本復旧工事に係る業務委託料を支出。 ・株式会社坂本重機建設へ本復旧の工事請負費を支出。					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由			
始期・終期(年度)	平成 30	～	令和 2	終期の種別	1:事業の終了時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	項	目	R元予算措置時期	当初	繰越
				H30年度	R元年度	R2年度		
現計予算額(A)(単位:千円)								
決算額(B)(単位:千円)								
内訳(単位:千円) ※H30→R元 決算内訳, R2→予算内訳	国支出金		0				0	0
	県支出金		0				0	0
	市債		17,900				85,100	32,500
	その他		0				0	0
	一般財源		83				117	0
主な経費(単位:千円) ※R元→決算,R2→予算					工事請負費 78,670千円		工事請負費 32,500千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等					決算額のうち6,547千円は前年度繰越分		予算額のうち32,500千円は前年度繰越分	
予算執行残額(単位:千円)	(A)-(B)				11,017		34,831	

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R元年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・本復旧工事					
主な取り組み内容の達成度	↓	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	工事の進捗により工事完成が令和2年度となった。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	野外活動センターでも利用頻度の高い場所の復旧工事であり、利用者が安全・安心して利用できる施設の維持管理は地域スポーツ活動の推進にとって必要不可欠であると考えられるため。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R元年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	工事の進捗により工事完成が令和2年度となったため、少しでも早く工事完成する必要がある。					
R2年度の目標	・令和2年9月末の完成に向けて計画的に本復旧工事を進める。 ・工事完成後は施設の本格的な再開を円滑に実施する。		R2年度の主な取り組み内容(予定含む)	・本復旧工事	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R2年度で取り組み改善策	少しでも早い工事完成を目指し、関係者との調整を密に行う。

令和2年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツインテグレーション推進課	担当グループ名	スポーツ振興担当	連絡先	948-6822			
	部長名	吉田 健二	課等長名	白石 信二	リーダー名	主幹	中矢 章一	担当者名	主事	武氣 浩介	
令和元年度	部局等名	総合政策部	課等名	スポーツインテグレーション推進課	担当グループ名	スポーツ振興担当	連絡先	948-6226			
	部長名	河合 洋二	課等長名	矢野 秋文	リーダー名	主幹	野口 信隆	担当者名	主査	影山 知佳	主事 西岡 直哉

1. 事業概要【Plan】 ※令和元年度の内容

事務事業名(施策コード)	42221	スポーツ推進委員協議会運営事業					事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	5:補助金・負担金
基本目標	健全で豊かな心を育む【教育・文化】					笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	多彩な人材を育む						重点プロジェクト	-		
施策	地域スポーツの活性化						主な取り組み	-		
主な取り組み	指導・支援体制の充実					市長公約				
取り組みの柱	指導者の育成・強化とボランティアの活動支援									
総合戦略	基本目標	-				取組み	-			(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無
	政策	-								
	施策	-								
総合計画の実施計画掲載有無(R元)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R元)		2:無し					
根拠法令,条例,個別計画等										
事業の目的(どのような状態にするか)	スポーツ推進委員協議会運営事業は、スポーツ基本法に基づき各地区(公民館単位)から推薦されたスポーツ推進委員を委嘱し、地区体育祭や各種スポーツ大会の運営や指導を行い地域のスポーツ振興に努める。									
背景(どのような経緯で開始したか)	1961年「スポーツ振興法」が制定され同法19条に体育指導員に関する条文として設けられた。2011年に「スポーツ基本法」に改正され同法32条にスポーツ推進委員に名称変更し引き続き規定が設けられた。									
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	対象:各地区の公民館長から推薦された方(定員150名)を、スポーツ推進委員として本市が委嘱している。その活動経費として、松山市スポーツ推進委員協議会に負担金を支出している。協議会では、各種市民スポーツ大会を運営するほか、障がい者スポーツやグラウンド・ゴルフ、ベタンク等の研修会を実施している。									
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由							
始期・終期(年度)	昭和	36	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	H30年度		R元年度		R2年度	
				教育費	項	保健体育費	目	社会体育総務費	R元
現計予算額(A)(単位:千円)				6,736		6,708		6,871	
決算額(B)(単位:千円)				6,596		6,586		6,871	
内訳(単位:千円) ※H30→R元 決算内訳, R2→予算内訳	国支出金			0		0		0	
	県支出金			0		0		0	
	市債			0		0		0	
	その他			0		0		0	
一般財源			6,596		6,586		6,871		
主な経費(単位:千円) ※R元→決算,R2→予算					報酬:5,575千円 負担金:786千円 消耗品費:137千円		報酬:5,685千円 負担金:789千円 消耗品費:137千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)		140		122		

\*決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R元年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	各公民館との連携を図り滞滞ない委嘱を行うことで、市民体育祭をはじめとする各種大会の円滑運営に努めることができた。									
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など		各種大会の運営にはそれぞれの課題もあるが、大会終了後は、運営や審判なども交えた反省会も実施しており、次回の大会に生かせるよう努めている。					
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由		市民のスポーツに対する意識の高揚や健康増進につながる						
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない		公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R元年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルス感染症の影響で松山市スポーツ推進委員協議会総会を书面開催として実施することとなった。									
R2年度の目標	引き続き、スポーツ基本法に基づき委員の委嘱を行い、委員の活動を円滑にするための補助を行う。		R2年度の主な取り組み内容(予定含む)		各種市民スポーツ大会の運営やスポーツ推進委員研修会の実施		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R2年度で取り組む改善策		新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視し、総会や研修会については、延期や書面決議での対応を行い、協議会の運営に支障をきたさないよう対応する必要がある。	

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	
活動指標 (3つまで設定可)			目標値						目標値	
			実績値						達成年度	
			% 達成度							
	指標の種類									
	本指標の設定理由					最終目標値の設定の考え方				
				目標値						目標値
				実績値						達成年度
				% 達成度						
	指標の種類									
	本指標の設定理由					最終目標値の設定の考え方				
				目標値						目標値
				実績値						達成年度
% 達成度										
指標の種類										
本指標の設定理由					最終目標値の設定の考え方					
成果指標 (3つまで設定可)			目標値						目標値	
			実績値						達成年度	
			% 達成度							
	指標の種類									
	本指標の設定理由					最終目標値の設定の考え方				
				目標値						目標値
				実績値						達成年度
				% 達成度						
	指標の種類									
	本指標の設定理由					最終目標値の設定の考え方				
	上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標								
		成果指標								
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容	スポーツ推進委員協議会の補助をするものであるため活動・成果指標の設定は行わない。									